

- 2 山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いています。次は、山田さんが書いた【意見文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(1)から(4)は、段落の番号を表します。)

【意見文の下書き】

1 SNS (ソーシャルネットワークワーキングサービス) などを活用し、インターネット上で文字を通したやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。(A)からだ

2 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの。」と書いたところ、「どうして行ってはダメなの。」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないように(B)「集合場所までどうやって来るの。」とすれば、このようなことは起こらなかっただろう。

3 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる手軽さこそがSNSのよさだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらなければ、私が経験したように相手に誤解を与え、不快な思いをさせてしまうこともあるのだ。

4 SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

1 山田さんは、【意見文の下書き】を読み返して、(A)と(B)のように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までのの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 1段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
- 2 2段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 3 3段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 4 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 5 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

解答欄

(A)

(B)

※問題は、次のページに続きます。

二 山田さんが書いた【意見文の下書き】の構成にはどのような工夫がありますか。複数の段落に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、**①**、**②**などの段落の番号を示しながら書くこと。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--

解答欄

--	--	--	--

2 山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いています。次は、山田さんが書いた【意見文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(1)から(4)は、段落の番号を表します。)

【意見文の下書き】

① SNS (ソーシャルネットワークワーキングサービス) などを活用し、インターネット上で文字を通したやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。[Ⓐ]からだ

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの。」と書いたところ、「どうして行ってはダメなの。」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないように[Ⓑ]「集合場所までどうやって来るの。」とすれば、このようなことは起こらなかっただろう。

③ 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる手軽さこそがSNSのよさだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらなければ、私が経験したように相手に誤解を与え、不快な思いをさせてしまうこともあるのだ。

④ SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

一 山田さんは、【意見文の下書き】を読み返して、ⒶとⒷのように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までのの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 ①段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
- 2 ②段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 3 ③段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 4 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 5 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

解答欄

Ⓐ 4

Ⓑ 1

※問題は、次のページに続きます。

二 山田さんが書いた「意見文の下書き」の構成にはどのような工夫がありますか。複数の段落に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、①、②などの段落の番号を示しながら書くこと。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--

解答欄

例 1

①段落で自分の意見を述べ、④段落で繰り返し述べるといふ工夫があり、伝えたいことが明確になっていてよいと思う。

例 2

③段落で自分の意見に対して予想される反論について述べることで、④段落の意見に説得力をもたせている。

例 3

②段落で具体例について述べることで、①段落や④段落の意見が分かりやすくなっていると思います。

例 4

①段落で伝えたいことを述べ、②段落でその根拠となる具体例を示し、③段落で予想される反対の考えを示し、④段落でもう一度伝えたいことを述べています。